

みずほCustomer Desk Report 2023/09/14号 (As of 2023/09/13)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	147.33 AUD/USD
TKY 9:00AM	147.18	1.0754	158.43	1.2495	0.6428
SYD-NY High	147.77	1.0765	158.63	1.2511	0.6434
SYD-NY Low	147.02	1.0712	158.05	1.2434	0.6381
NY 5:00 PM	147.45	1.0730	158.23	1.2490	0.6421

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	34,575.53	▲ 70.46	日本2年債	0.0200% ▲0.0100%
NASDAQ	13,813.59	39.97	日本10年債	0.7100% 0.0000%
S&P	4,467.44	5.54	米国2年債	4.9703% ▲0.0487%
日経平均	32,706.52	▲ 69.85	米国5年債	4.3835% ▲0.0416%
TOPIX	2,378.64	▲ 1.27	米国10年債	4.2534% ▲0.0257%
ソコ日経先物	32,685.00	45.00	独10年債	2.6515% 0.0115%
ロンドンFT	7,525.99	▲ 1.54	英10年債	4.3405% ▲0.0715%
DAX	15,654.03	▲ 61.50	豪10年債	4.1540% 0.0050%
ハンセン指数	18,009.22	▲ 16.67	USDJPY 1M Vol	9.44% ▲0.26%
上海総合	3,123.07	▲ 13.99	USDJPY 3M Vol	9.39% ▲0.05%
NY金	1,932.50	▲ 2.60	USDJPY 6M Vol	9.46% ▲0.02%
WTI	88.52	▲ 0.32	USDJPY 1M 25RR	▲1.08% Yen Call Over
CRB指数	287.62	0.28	EURJPY 3M Vol	9.39% 0.03%
ドルインデックス	104.77	0.06	EURJPY 6M Vol	9.69% 0.03%

東京	東京時間のドル円は147.18レベルでオープン。仲値にかけての実需の買いから、週間高値となる147.25近辺を抜けると、その流れのまま一時147.45まで上値を伸ばす。ただ米8月CPIを控えた様子見ムードの強まりもあってか、勢いが一服すると水準を戻し、その後は147円台前半で動意薄く推移。結局147.28レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.28レベルでオープン。本日は米指標を欧州午後控え全般に動意薄。147.21-43で推移し147.39レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2448レベルでオープン。朝方、英7月月次GDPが予想を上回り-0.5%下落となったことから立ち上がり1.2442まで下落。しかし夏季の悪天候という一時的な事由との見方もあってか、結局1.2473レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台前半でスタート。東京時間では、持ち高調整や原油高等を理由とした円売りが先行し、147.30近辺まで上昇。その後、米8月CPI発表待ち姿勢が強まり、147.40付近を軸とした値動きが続き、147.39レベルでNYオープン。朝方に発表された注目の米8月コアCPI(前月比)は予想を上回り、買いで反応し、147.77まで上昇。しかし、コアCPI(前年比)では前月より低下している内容を受け、米インフレ鈍化傾向の思惑から、米長期金利が低下する展開につれ安となり、147.30まで反落する。午後は米金利が低水準で推移する展開が重しとなり、ドル円は再び147.10台まで下落。売り一巡後は147.50近辺まで反発し、その後147.45レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台半ばでスタート。独金利低下やユーロ圏7月鉱工業生産が予想より悪化している内容が売り材料となり、ユーロドルは始終軟調な展開が続き、1.0737レベルでNYオープン。朝方は米8月CPIの結果を受けて、ドル買いの流れから1.0712まで下落。その後1.0760近辺まで切り返すも、買戻しは長続きせず、再び1.0730付近まで反落する。午後は明日行われECB理事会を控え、1.0740付近を挟んだ狭い値動きが続き、1.0730レベルでクロス。

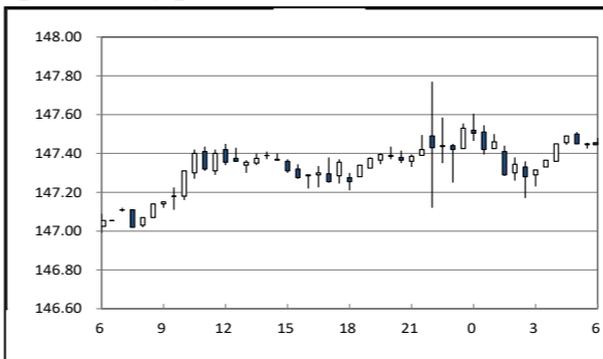
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月13日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 -0.7%/0.4%	-0.7%/0.4%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	7月 -0.8%/3.0%	-1.0%/2.7%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	8月 0.6%/3.7%	0.6%/3.6%
	21:30	米 CPI除食品・エネルギー(前月比/前年比)	8月 0.3%/4.3%	0.2%/4.3%

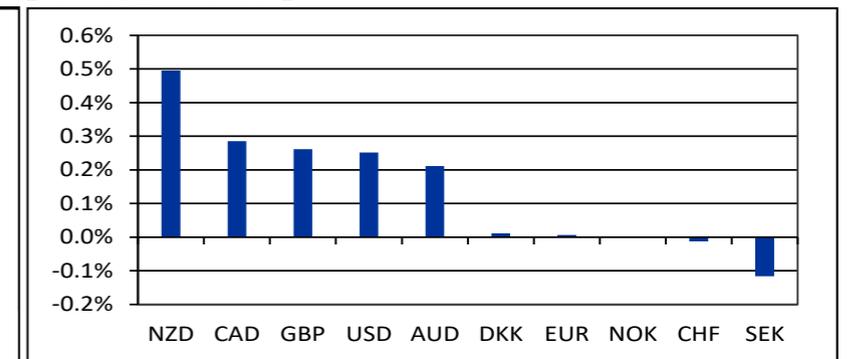
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月14日	10:30	豪 雇用者数変化	8月 25.0k	-14.6k
	10:30	豪 失業率	8月 3.7%	3.7%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	7月 -	-2.0%/-2.5%
	21:15	欧 ECB主要政策金利	14-Sep 4.25%	4.25%
	21:30	米 小売売上高(前月比)	8月 0.1%	0.7%
	21:30	米 小売売上高(前月比)	8月 0.1%	0.7%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	8月 0.4%	1.0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	9-Sep 225k	216k
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	8月 0.4%/1.3%	0.3%/0.8%
	21:45	欧 ラガルドECB総裁 会見	14-Sep -	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.50-147.80	1.0650-1.0800	157.00-159.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は147円台でのみ合い推移となった。東京時間147.18でオープンし、仲値にかけての実需の買いから、週間高値となる147.25近辺を抜けると、その流れのまま一時147.45まで上値を伸ばすも、その後は米8月CPIを控えた様子見ムードが強まり、147円台前半から半ばにかけてのみ合い推移。NY時間では、発表された注目の米8月コアCPI(前月比)は予想を上回り、買いで反応し、147.77まで上昇。しかし、コアCPI(前年比)では前月より低下している内容を受け、米インフレ鈍化傾向の思惑から、米長期金利が低下する展開につれ安となり、147.30まで反落し、結局147.45でクロスした。

本日のドル円は引き続き147円台でのみ合い推移を予想する。日中はイベント待ちで材料に欠ける中、動意に乏しい展開となろう。海外時間では、ECB理事会の開催が予定されており、ユーロ圏のインフレが根強い一方、景気の弱さが目立っている状況。追加利上げか据え置きかについて市場の見方が分かれており、発表後はユーロ対ドルの値動きに留意したい。また、米8月小売売上高、米8月PPIなどの重要指標の発表も予定されており、9月のFOMCでは利上げの一時停止が見込まれているものの、11月・12月会合のどちらかにおける追加利上げについても味方が分かれており、経済指標の結果によってはドル円にも動きが出てくる可能性があり、留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小林・西